

平成 24 年度

薬学専攻

(博士課程(4年制課程))

学生募集要項

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科

## 出願手続から入学までの日程

事 項	日 程
出願資格認定審査期間 (出願資格審査が必要な者)	平成23年7月22日(金)まで
出 願 期 間	平成23年8月1日(月)～8月5日(金)
試 験 期 日	平成23年9月13日(火), 9月14日(水)
合 格 者 発 表	平成23年9月22日(木)
入 学 手 続	平成24年3月頃
入 学	平成24年4月

### 『自然災害により被災された受験生の皆さまへ』

金沢大学では、『3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震』、『3月12日に発生した長野県北部を震源とする地震』により被災された受験生の進学機会を確保するため、入学検定料の免除を実施します。

免除に関する詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。

金沢大学ホームページ <http://www.kanazawa-u.ac.jp/enter/admission/index.html>

# 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 薬学専攻(博士課程)

## I. アドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

本専攻では、薬学を中核に据えた医療系学問分野における最先端の知識、医療人としての実践的な研究能力、および高い倫理観の醸成を目的とします。薬学・医学・保健学という三つの医療系学問分野が横断的に連携した本研究科に特有の学際的環境の中で、基礎薬学から医療薬学にわたる幅広い分野での教育を通して、高い専門性を有する薬学教育・薬学研究のリーダー、自然科学の素養と学術的に優れた研究能力を兼ね備えた医療人を養成します。具体的には、臨床現場において指導的役割を果たす薬剤師、次世代の医療薬学教育・研究をリードする薬系大学教員、医療・厚生・薬事・環境等の行政担当者、新薬開発や臨床試験等の実施に携わる研究者など、高度に専門的な業務に従事し、その第一線で活躍を目指す人を受け入れます。

## II. 専攻名および募集人員

薬学専攻 4名(社会人特別入試を含む)  
授与する学位 博士(薬学)、博士(学術)

## III. 選抜の種類

1. 一般入試
2. 社会人特別入試

社会人特別入試は、出願時において、会社等に在職し、入学後も引き続きその身分を有する者で、所属長の受験許可を受けた者が出願してください。

## IV. 出願資格

出願に際しては、あらかじめ志望指導教員と連絡を取ってください。(連絡先は巻末に記載)

次の各号のいずれかに該当(平成24年3月31日までに該当見込みを含む)する者。

- (1) 大学の薬学(※修業年限が6年である者に限る。以下同じ)、医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者
- (2) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者(薬学(※)、医学、歯学又は獣医学を履修した者に限る)
- (3) 外国において学校教育における18年の課程(最終の課程が、薬学(※)、医学、歯学又は獣医学を履修した者に限る)を修了した者
- (4) 我が国において、外国の大学における18年の課程(最終課程が薬学(※)、医学、歯学又は獣医学を修了した者に限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程(最終課程が薬学(※)、医学、歯学又は獣医学を修了した者に限る)を修了した者
- (6) 修士課程を修了した者等文部科学大臣の指定した者(昭和30年文部省告示第39号)
- (7) 次のア)からウ)に該当する者であって、本研究科が定める単位を優秀な成績で修得したと認められた者
  - ア) 外国において学校教育における16年の課程(最終の課程が薬学(※)、医学、歯学又は獣医学に限る)を修了した者
  - イ) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程(最終の課程が薬学(※)、医学、歯学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。)を修了した者
  - ウ) 我が国において、外国の大学における16年の課程(最終の課程が薬学(※)、医学、歯学又は獣医学に限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者
- (8) 大学(薬学(※)、医学、歯学又は獣医学を履修する課程に限る)に4年以上在学し、本研究科が定める単位を優秀な成績で修得したと認められた者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学の薬学(※)、医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成24年3月31日までに24歳に達する者

- ・出願資格(7)、(8)、(9)により出願を希望する者については、出願に先立ち資格審査を行います。8ページの「出願資格の審査」を参照してください。
- ・出願資格(8)により出願を希望する者が修得しなければならない単位は、在籍する当該大学学部の第4年次終了時までには修得すべき卒業に必要な全単位です。なおこれにより、正規の課程を卒業せずに入学した者の学部生としての学籍上の身分は、退学となります。従って、各種国家試験等の受験資格で、大学の学部卒業の要件になっているものについては、受験資格が無いこととなりますので、十分注意してください。

## V. 出願に必要な書類

①	入学願書【様式1】	<p>本学所定の用紙          所要事項を記入し，脱帽半身正面向き（背景無地）で，出願前3カ月以内に単身撮影した同一の写真を所定欄（2箇所）に貼り付けてください。          また，必ず②の「振込金証明書」を裏面の所定欄に貼付してください。（学内進学者及び国費外国人留学生を除く）</p>
②	<p>入学検定料振込金証明書</p> <p><b>※学内進学者(平成24年3月に本学の博士前期課程または修士課程を修了し，引き続き博士課程に進学する者)及び国費外国人留学生は，入学検定料の納入は不要です。</b></p>	<p>30,000円          納入方法：本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上，「電信扱」が利用できる金融機関（郵便局を除く）の窓口で納入してください。納入後，銀行領収印が押してあることを確認し「振込金証明書」を願書の裏面の所定欄に貼付してください。「領収書」は，大切に保存してください。</p> <p>(1) 通常，金融機関の窓口営業時間は午後3時までです。土日・祝日は休業となりますので注意してください。          (2) ATM，携帯電話，パソコン等からは振り込まないでください。</p> <p>出願受理後は，いかなる理由があっても，入学検定料は返還しませんので，注意してください。          ただし，入学検定料の振込後，出願を取り止めた場合は返還手続きを行うことができますので，下記担当まで連絡してください。          なお，返還の際は「領収書(本人控)」及び「振込金証明書(提出用)」が必要になります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>担当：金沢大学財務部財務管理課出納係              〒920-1192 金沢市角間町              電話 (076) 264-5058～5060</p> </div>
③	卒業(修了)または卒業(修了)見込証明書	<p>出身大学長等が作成したもの          大学院修了(見込)者は，<u>学部・大学院の両方</u>を提出してください。          但し，出願資格の(7)，(8)，(9)に該当する者及び本学薬学部卒業(見込)者は不要です。          ④の学業成績証明書に卒業・修了(見込)が明記してある場合は，本証明書は不要です。</p>
④	学業成績証明書	<p>出身大学長等が作成したもの          大学院修了(見込)者は，<u>学部・大学院の両方</u>を提出してください。          出願資格(9)により出願する者は，最終学歴の学校長等が作成したもの。(修得科目名及び単位数が記載されているもの)</p>

⑤	「卒業論文の写し」, 「卒業・修士論文の概要/ 研究又は開発業務等の概要 【様式2】」等	大学の薬学及び獣医学(修業年限が6年である者に限る), 医学又は歯学を履修する課程の卒業(見込)者は、「卒業論文 の写し」,「卒業論文の概要」,「研究又は開発業務等の概要」 のうちいずれか一つを提出してください。 修士の学位を有する者は、「修士論文の写し」,「修士論文の 概要」,「研究又は開発業務等の概要」のうちいずれか一つを 提出してください。 上記以外の者は、「研究又は開発業務等の概要」を提出して ください。 また, 学術論文や研究等に関する発表論文別刷等の資料及 び参考となると思われる書類(写し)がある場合は, 添付(A 4判)してください。
⑥	受験許可書【様式3】 ※ <u>社会人特別入試のみ</u>	官公庁・企業・団体等に在職のまま在学することが可能で す。その場合は, 所属長(又は指導者)が作成した受験許可 書を提出してください。なお, 出願時に提出できない場合 は, 入学時に承諾書等を提出することとなりますが, その 場合, 大学院係へ問い合わせてください。
⑦	教育方法特例適用申請書 【様式4】 ※ <u>社会人特別入試のみ</u>	大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用を希 望する者は, 提出してください。
⑧	受験票送付用封筒	募集要項に添付の定形封筒に350円切手(速達郵便)を貼付, 郵便番号, 住所, 氏名を明記してください。
⑨	連絡受信先シール	郵便番号, 住所, 氏名等必要事項を記入してください。(募 集要項に添付の用紙)
⑩	その他	日本に在留する外国人志願者は, 市区町村長の発行する登 録原票記載事項証明書(在留資格が明示されたもの)及びパ スポートの写し(氏名等の本人情報が記載されているペー ジと最新のビザが記載されているページ)を提出してくだ さい。

(注1) 外国語で書かれた証明書等には, その日本語訳を添付してください。

(注2) 改姓(改名)により, 証明書等の氏名が異なっている場合は, 変更の事実を証明できるもの(戸  
籍抄本等)を添付してください。

## VI. 「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」について

社会人特別入試入学者に対して, 大学院での学修を容易とするために「大学院設置基準第14  
条に基づく教育方法の特例」の制度があります。

参考：大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)[抄]

第14条 大学院の課程においては, 教育上特別の必要があると認められる場合には, 夜間そ  
の他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教  
育を行うことができる。

## VII. 出願期間

平成23年 8 月 1 日(月)～平成23年 8 月 5 日(金) 17時(必着)

ただし、「IV. 出願資格」のうち(7), (8), (9)に該当する者は, この期間に先立ち, 7月22日(金)17時(必着)までに申請し, 出願資格審査を受けなければなりません。8ページの「出願資格の審査」を参照してください。

## VIII. 出願手続き

### 1. 出願方法及び提出先

志願者は, 「V. 出願に必要な書類」を一括して, 本学所定の封筒に入れ, 出願期間内に到着するよう提出してください。郵送する場合は, 書留郵便としてください。

**【提出先】 金沢大学薬学学務係(薬学系担当)**

〒920-1192 金沢市角間町 TEL (076)234-6827, 6828

### 2. 出願及び受験にあたっての注意事項

- ① 出願前に志望指導教員と連絡を取ってください。
- ② すべての書類に記入漏れがないか確認してください。出願書類に不備がある場合は, 受理しないことがあります。
- ③ 出願書類の記載に不正があった場合は, 入学許可を取り消すことがあります。
- ④ 出願書類受理後は, いかなる理由があっても書類の返却, 記載事項の変更及び入学検定料の払い戻しはしません。
- ⑤ 受験に関する注意事項(試験室, 試験実施方法等)は受験票とともに送付します。

## IX. 入学者選抜の方法

選抜は, 「学力検査」及び「学業成績証明書」等を総合的に判断し, 判定します。

試験科目	摘 要
英 語	筆記試験を行います。
口述試験	「卒業論文」, 「研究又は開発業務等の概要」, 「修士論文」のいずれかについて, 口頭発表(20分程度)及び質疑応答を行います。

(注1) 口述試験において, 液晶プロジェクターの使用希望者は, 「入学願書」【様式1】所定欄の該当区分に○印をつけてください。なお, その他の使用機器を希望する場合は, 薬学学務係へ問い合わせてください。

(注2) 本学薬学科卒業見込みの者の口述試験は, 別途行います。

## X. 試験期日及び場所

期 日	場 所	試験科目	備 考
平成23年 9月13日(火) 平成23年 9月14日(水)	金沢大学自然科学棟 (角間キャンパス)	英 語	1日目に実施します。
		口述試験	時間等詳細は、受験票を送付する際に通知します。

## XI. 合格者発表

平成23年 9月22日(木) 17時頃

自然科学本館正面玄関において発表するとともに、合格者へ郵送で通知します。

## XII. 入学手続き及び授業料について

2月中旬までに本学から送付する「大学院入学手続要項」によります。

授業料等納付金

①入学金 282,000円(予定)

平成24年 3月本学大学院博士前期課程・修士課程修了後、引き続き博士課程に進学する者及び国費外国人留学生は、入学金の納入は不要です。

②授業料(前期分) 267,900円(予定)

(注)上記の納付金額は予定額であり、入学時または在学中に入学金・授業料が改定された場合には、改定時から新入学金・新授業料が適用されます。

## XIII. 修業年限及び修了の要件

原則として、4年以上在籍し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文を在籍期間中に提出して、その審査及び最終試験に合格しなければなりません。

### [長期履修制度]

本専攻では、職業を有している等の事情により標準修業年限4年での修了が困難な方を対象として、修業年限を超えて一定の期間(最長8年)にわたり計画的に教育課程を履修し修了することをあらかじめ申請し、その計画的な履修を認定する「長期履修制度」を導入しています。

① 長期履修を申し出ることができる者

次のいずれかに該当する者で、標準修業年限4年内での修学が困難な事情にある者。

(1) 社会人有職者で、職務上の事情により、著しく学修時間の制約を受ける者

(2) 育児、介護等に従事している者で、その事情により、著しく学修時間の制約を受ける者



② 長期履修の期間

5年，6年，7年，8年とします。

③ 長期履修が認められた場合の授業料

$(\text{授業料年額} \times 4 \text{年}) \div (\text{長期履修の期間}) = \text{長期履修の場合の年間授業料}$

「長期履修制度」の利用を希望する場合は、「入学願書」【様式1】の所定欄に希望する旨の表示を記入してください。

申請方法等は合格通知とともにお知らせします。申請には志望指導教員の承認が必要です。なお、申請しても許可されない場合もありますので、ご承知おきください。

## XIV. その他

### 1. 個人情報の取り扱いについて

金沢大学では、「国立大学法人金沢大学個人情報管理規程」等を制定し、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続時に提出していただく書類に記載されている全ての個人情報は、次の業務で利用します。

- (1) 入学者選抜及び入学手続に関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理，修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- (3) 入学金免除，授業料免除，奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- (4) 入学金・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (5) 入学者選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- (6) 卒業(修了)生に対する学習成果等調査(アウトカムズ・アセスメント)，同窓会活動への支援等に関する業務
- (7) その他，個人が特定できない形で行う統計処理業務

### 2. 学生募集要項の請求

郵送を希望する場合は、返信用封筒(角形2号，390円切手を貼り，受信者の郵便番号，住所，氏名を明記したもの)を同封の上，上記へ請求してください。請求する際には，封筒の表に「医薬保健学総合研究科薬学専攻(博士課程)募集要項請求」と朱書きしてください。

# 出願資格の審査

出願資格(7), (8), (9)により出願を希望する者については、以下により出願資格の審査を行います。なお、必要がある場合は、面接を行います。

## 1. 提出書類

書 類 等	摘 要
入学試験出願資格認定申請書【様式Ⅰ】	本研究科所定の用紙を使用してください。
研究業績等調書【様式Ⅱ】	本研究科所定の用紙を使用してください。
最終学歴の卒業証明書又は在学期間証明書	最終学歴の学校長等発行のもの
在職期間又は研究期間証明書	所属長等発行のもの
出願書類等	本要項3ページ「Ⅴ. 出願に必要な書類」の③以外の書類

(注)

- ・外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。
- ・本学薬学部卒業者は、最終学歴の卒業証明書又は在学期間証明書は不要です。
- ・上記のほか、必要により、その他の証明書等の提出を求められることがあります。

## 2. 提出先

本要項5ページ「Ⅷ. 出願手続き」の「1. 出願方法及び提出先」に同じ。

なお、郵送する場合は、書留郵便とし、その封筒の表に、「医薬保健学総合研究科薬学専攻(博士課程)出願資格事前審査申請」と朱書してください。

## 3. 提出期間

平成23年7月22日(金) 17時まで

(注) 郵送する場合も、出願期間の最終日までに必着(前日消印有効)のこと。

## 4. 結果通知

審査の結果は、平成23年8月1日(月)までに、申請者あて郵便により通知します。

また、認定された方は、願書の出願期間(平成23年8月1日(月)～8月5日(金))に新たに出願書類等を提出する必要はありません。

なお、認定されなかった場合は、入学検定料を返還します。

薬学専攻

(付)各研究分野／指導教員と研究内容

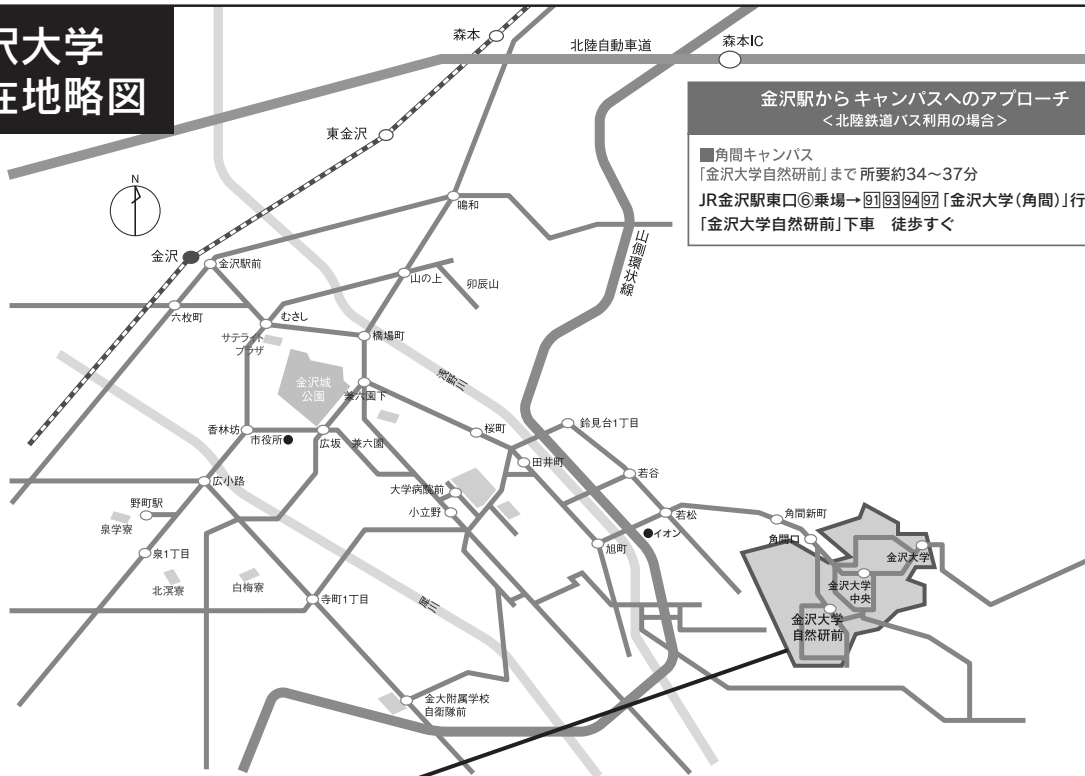
●印は、平成25年3月31日定年退職予定の教員  
 ◎印は、平成26年3月31日定年退職予定の教員  
 ○印は、平成27年3月31日定年退職予定の教員  
 ※印は、兼任の教員

研究室	研究内容	指導教員
国際保健薬学 TEL:076-234-4402 E-mail:kimurak@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 医薬品の普及、品質及び適正使用の国際的な確保に関する研究 (2) カウンターフィット薬に関する研究 (3) HIV/AIDS対策及び医療システムに関する研究	木村 和子 教授 ●清水 栄 准教授 坪井 宏仁 准教授 吉田 直子 助教
臨床薬物情報学 (荒井教授) TEL:076-264-6224 E-mail:arai@p.kanazawa-u.ac.jp (松下教授) TEL:076-234-4405 E-mail:matusita@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 科学的根拠に基づく薬物療法の構築 (2) オーダーメイド医療を目指した薬物治療の個別化に関する研究 (3) 在宅医療における薬剤師に関する研究 (4) 薬物治療・副作用モニタリングに関する薬物動態学および臨床薬学的研究 (5) 薬剤師が薬物治療に貢献するための科学的根拠の構築と適用 (6) 薬学的アプローチによる医療現場でのPharmaceutical Care実践のサポート	荒井 國三 教授 松下 良 教授 石崎 純子 准教授 大柳賀津夫 講師 菅 幸生 助教
薬物代謝化学 TEL:076-234-4407 E-mail:tyokoi@kenroku.kanazawa-u.ac.jp	(1) 薬物代謝酵素の転写調節・誘導機構に関する研究 (2) 薬の代謝を考慮した毒性・安全性評価と予測に関する研究 (3) ヒト薬物代謝酵素の遺伝子多型と薬物相互作用に関する研究	横井 毅 教授 中島 美紀 准教授※ 深見 達基 助教※
生体防御応答学 TEL:076-234-4481 E-mail:nakanaka@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) アポトーシス細胞貪食除去の仕組みと意義に関する研究 (2) 感染症防止における自然免疫反応の仕組みに関する研究 (3) 宿主に感染した細菌における遺伝子発現変動に関する研究	中西 義信 教授 平山(由)明子 准教授※ 永長 一茂 助教※
薬物動態学 TEL:076-234-4479 E-mail:tamai@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 創薬のための薬物および生理活性物質の生体膜輸送メカニズムとその制御 (2) トランスポーターを利用した薬物の組織・がん選択的デリバリーに関する研究 (3) 生体機能イメージングによる薬物の体内物流・細胞内動態可視化解析	玉井 郁巳 教授 中西 猛夫 准教授※ 白坂 善之 助教※
分子薬物治療学 TEL:076-234-4465 E-mail:ykato@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 薬の効果・副作用と薬物分子認識とを統合する定量速度論的研究 (2) 生体膜薬物透過機構の細胞特異性と薬物治療に及ぼす影響に関する研究 (3) タンパク質間相互作用による栄養物と異物の分子識別に関する研究	加藤 将夫 教授 中道 範隆 准教授※ 杉浦 智子 助教※
機能性分子設計学 TEL:076-234-4474 E-mail:isibasi@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 高選択的合成反応の開発研究 (2) 生理活性天然有機化合物の合成 (3) 医薬品合成を志向した複素環化合物の合成と反応に関する研究	●石橋 弘行 教授※ 松尾 淳一 准教授※ 谷口 剛史 助教※
衛生化学 TEL:076-234-4413 E-mail:hayakawa@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 有害化学物質の環境内挙動に関する研究 (2) 内分泌攪乱化学物質・発癌物質の生体影響に関する研究 (3) 生活環境物質の分析法と曝露評価に関する研究	早川 和一 教授※ 鳥羽 陽 准教授※ 亀田 貴之 助教※

研究室	研究内容	指導教員
活性相関物理化学 TEL:076-234-4425 E-mail:nakagaki@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 芳香族有機化合物の光反応・ラジカル反応の機構解明と反応性制御 (2) 芳香族有機化合物の分光学的研究および分子軌道論計算 (3) 光学活性物質の構造と反応性に関する研究	中垣 良一 教授※ 福吉 修一 助教※
精密分子構築学 TEL:076-234-4411 E-mail:cmukai@kenroku.kanazawa-u.ac.jp	(1) 有機金属化合物を活用する新規反応の開発研究 (2) 生理活性物質及び関連化合物の合成に関する研究 (3) アルキン、アレンの環化反応に関する研究	向 智里 教授※ 北垣 伸治 准教授※ 稲垣 冬彦 助教※
資源生薬学(薬用植物園) TEL:076-234-4489 E-mail:mikage@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 生薬・漢方薬の品質評価に関する歴史的、形態学的、化学的、分子生物学的研究 (2) 薬用植物の育種・栽培・品種改良研究 (3) アーユルヴェーダ製剤の国産化研究	◎御影 雅幸 教授(園長)※ 佐々木陽平 准教授※ 三宅 克典 助教※
薬物学 TEL:076-234-4471 E-mail:yyoneda@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 神経性アミノ酸シグナリングに関する分子薬理学研究 (2) 神経系および非神経系細胞内シグナル伝達分子に関する研究 (3) 神経系および骨関節系疾患の分子病態解明と治療戦略に関する研究	○米田 幸雄 教授※ 檜井 栄一 准教授※ 寶田 剛志 助教※
遺伝情報制御学 TEL:076-234-4487 E-mail:matsukas@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) ゲノム傷害に対する防御応答の分子メカニズムに関する研究 (2) 新規に開発したDNA修復解析系を用いた癌の予防と治療に関する研究 (3) T細胞増殖制御機構に関する研究	松永 司 教授※ 猪部 学 准教授※ 若杉 光生 助教※
生物有機化学 TEL:076-264-6201 E-mail:kunisima@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 生体機能を利用した有機触媒ならびに有機合成手法の開発 (2) 生体分子の機能解明を志向した化学修飾法の開発 (3) 生命科学への応用を目指した新しい反応や機能性材料の開発	国嶋 崇隆 教授※ 山田 耕平 助教※
臨床分析科学 TEL:076-234-4459 E-mail:odani@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 新規白金抗がん剤の創薬開発 (2) 薬物のタンパク質結合解明と創薬への応用 (3) がんやその他疾患の診断を目的とする分子イメージング剤の開発研究	小谷 明 教授※ 小川 数馬 准教授※ 黄檗 達人 助教※
ワクチン・免疫科学 TEL:076-234-4463 E-mail:shigeto@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 自然免疫を賦活化する次世代ワクチンベクターの開発研究 (2) マラリア原虫-ハマダラカの寄生適応性に関する研究 (3) 蚊唾液腺に含まれる生理活性物質の創薬研究	吉田 栄人 教授※ 伊従 光洋 助教※
山下研究グループ TEL:076-264-6270 E-mail:katsumi@kenroku.kanazawa-u.ac.jp	(1) 非遺伝毒性ストレスによるCdc25A, B, Cの分解誘発機構 (2) 細胞周期依存的なCdc25A, B, Cの安定性制御機構	山下 克美 准教授※
内山研究グループ TEL:076-234-4428 E-mail:uchiyama@p.kanazawa-u.ac.jp	(1) 環境調和型合成反応の開発研究 (2) 生物活性を有する天然物の合成に関する研究	内山 正彦 准教授※



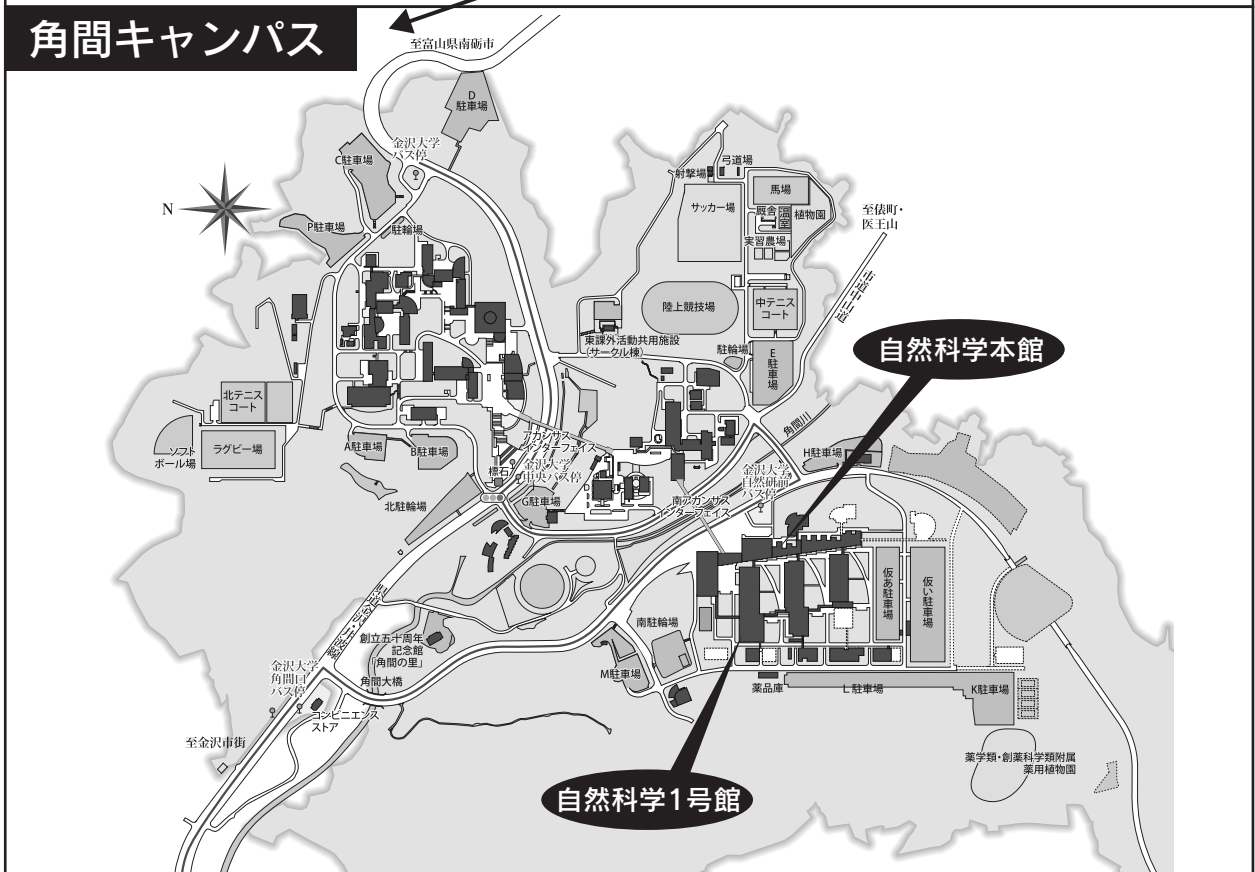
# 金沢大学 所在地略図



金沢駅からキャンパスへのアプローチ  
 <北陸鉄道バス利用の場合>

■角間キャンパス  
 「金沢大学自然研前」まで所要約34~37分  
 JR金沢駅東口⑥乗場→⑧⑨⑩⑪⑫「金沢大学(角間)」行き乗車  
 「金沢大学自然研前」下車 徒歩すぐ

# 角間キャンパス



## 問い合わせ先

金沢大学薬学学務係(薬学系担当)

〒920-1192 金沢市角間町 TEL(076)234-6827, 6828 FAX(076)234-6844